

特定領域

フレーバー物理の新展開

研究会2012

July 6-8, 2012 @ 吉野

# フレーバー物理の新展開

## –万物創成の謎に挑む–

山中 卓 (阪大)

金 信弘 (筑波大)

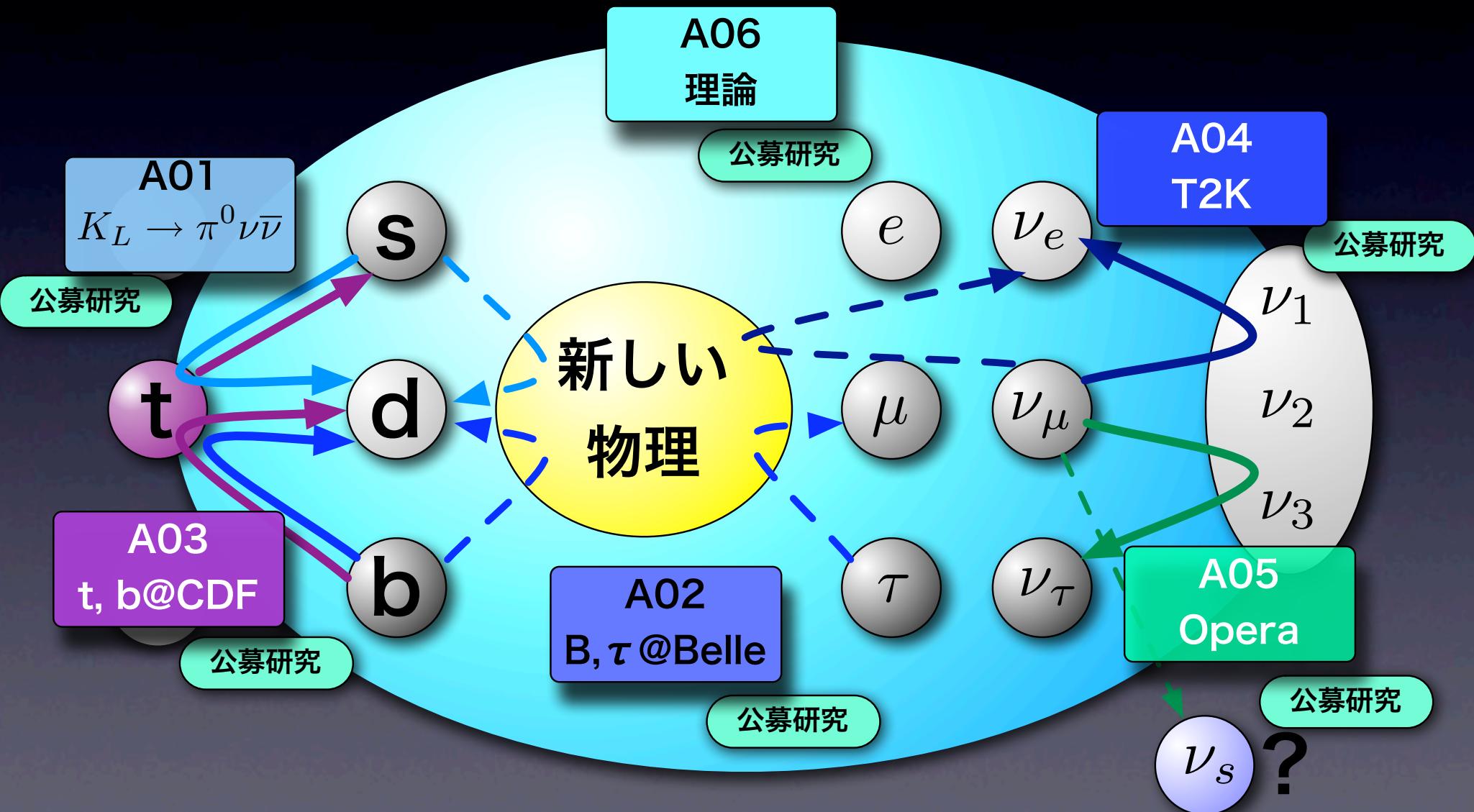
西川 公一郎 (KEK)

2006-06-12  
15+20min

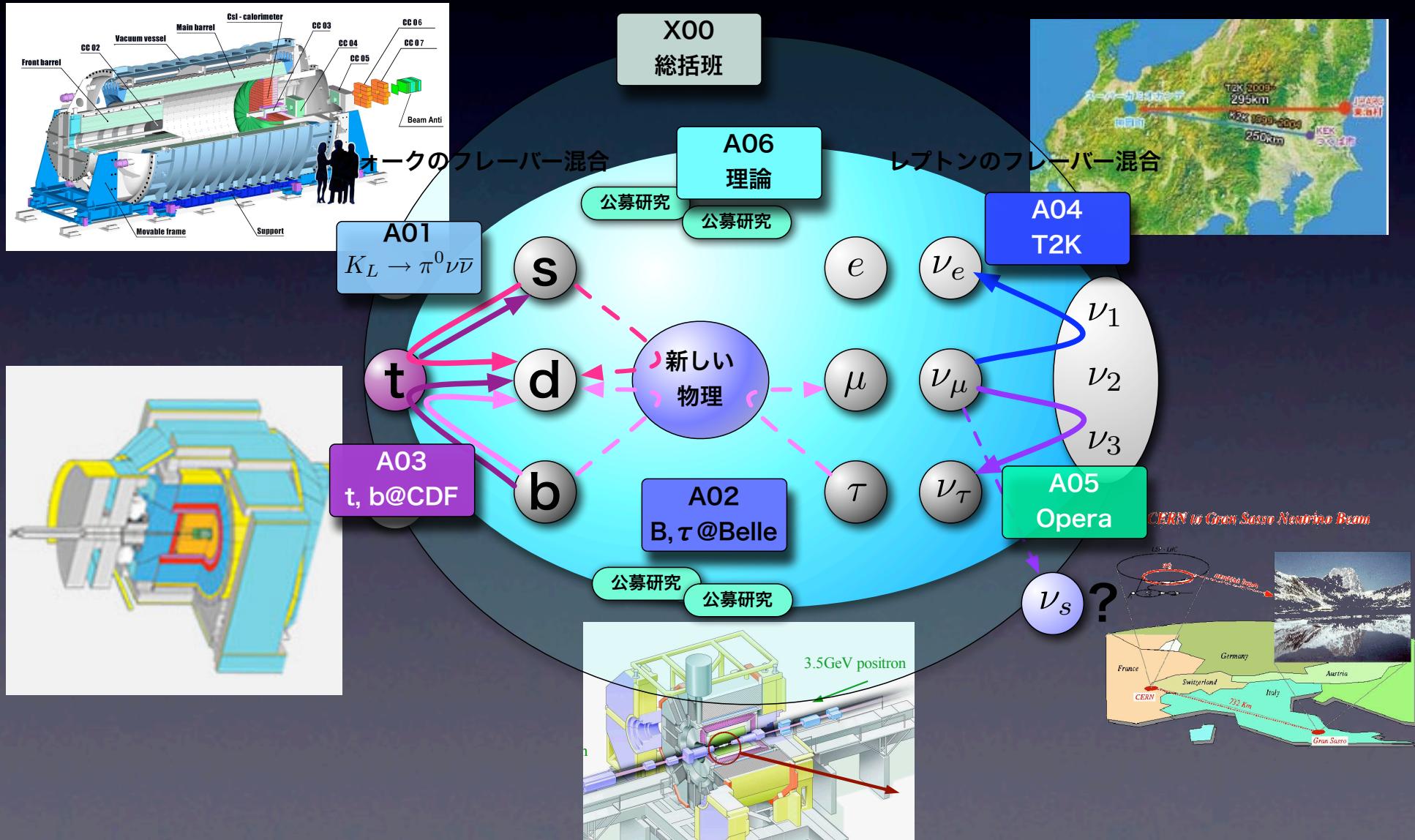
# 目的

- なぜ宇宙には「物質」があるのか？
- 素粒子のフレーバーを多角的に研究し、万物創成の謎に迫る

# 我々の戦略

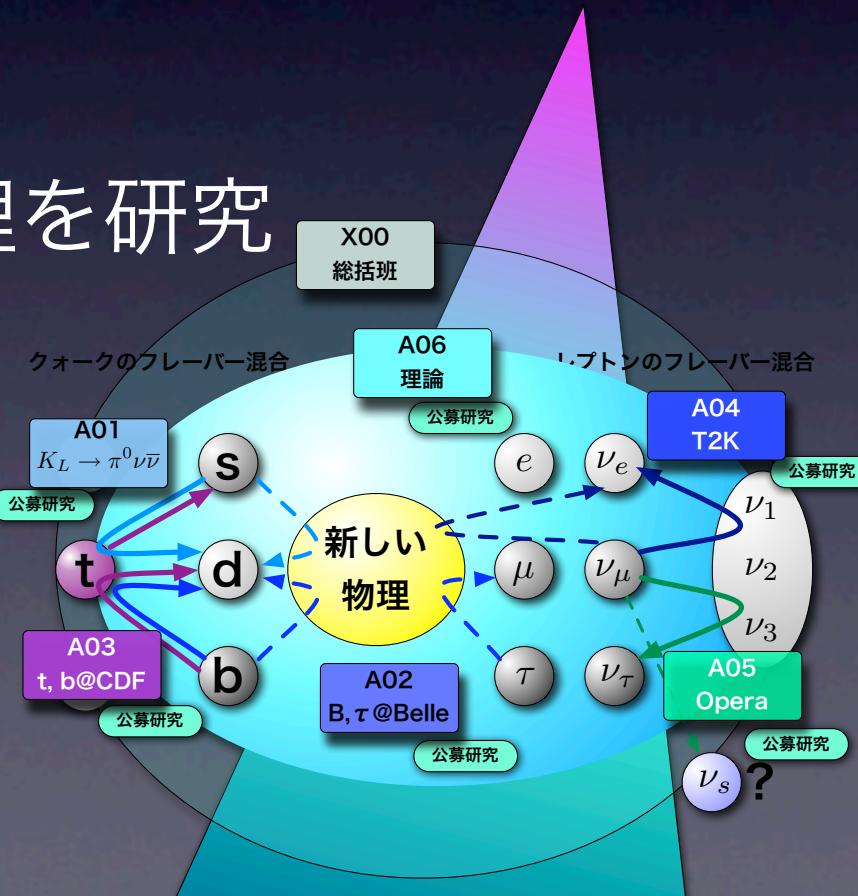


# 世界最高の現存施設

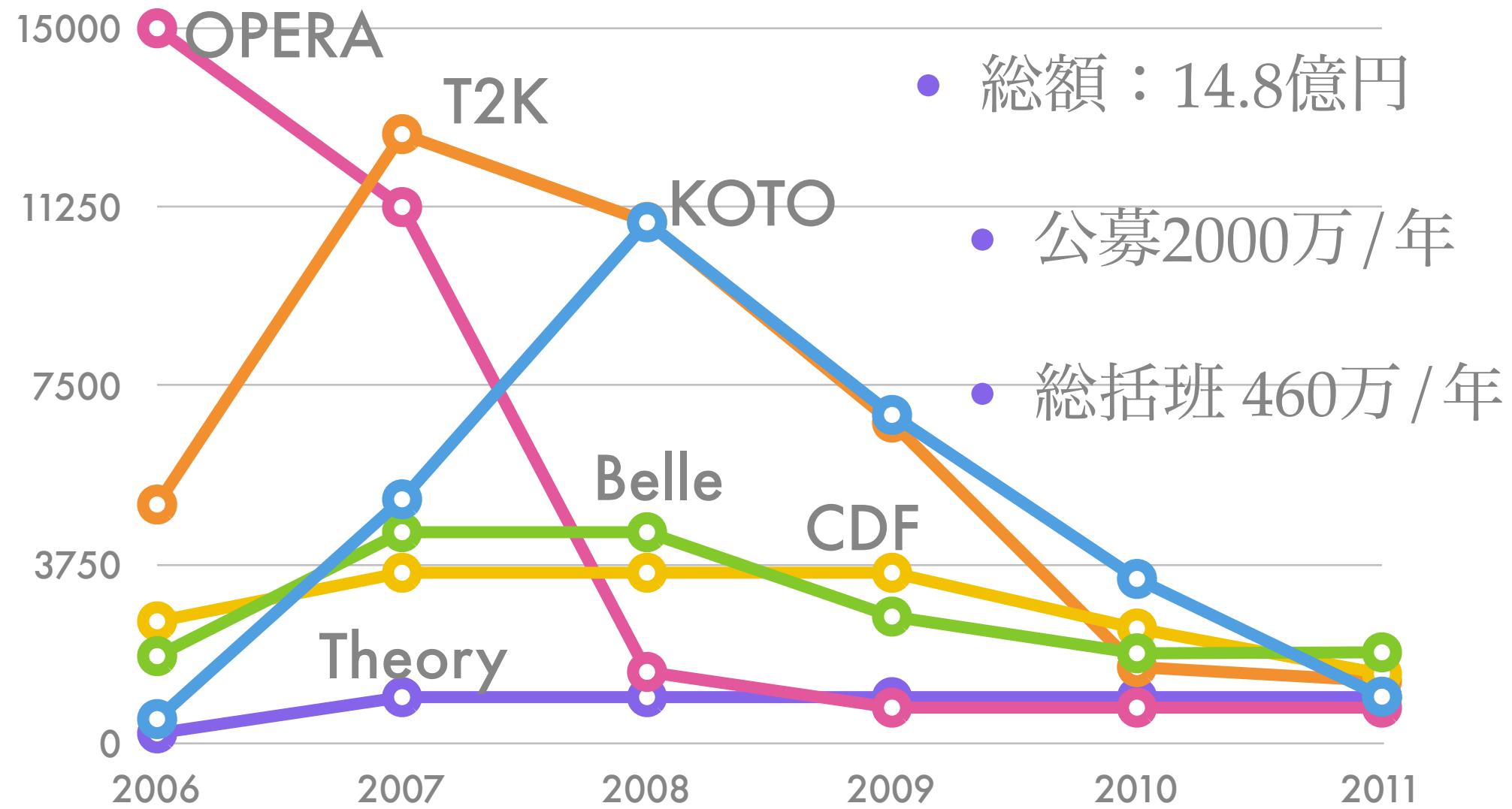


# フレーバー物理

- 世界をリードする実績、実験施設
- 確実な成果を出せる
- 多角的にフレーバー物理を研究
- 精密測定で新しい物理
- 万物創成の謎の解明



# フレーバー物理の新展開



# Many new results

- 401 papers
- CKM parameters w/b, t
- Flavor changing neutral currents w/b, s
- Neutrino oscillations
- Lepton number violation limits
- Theoretical studies

# Reports

- 研究成果報告書 (111 pages)
- 事後評価のための報告書 (33 pages)
- <http://osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~flavor/report.html>  
(web pages maintained by Ayako  
Sekiya)

# Byproduct

- 「象の卵」
- = 科研費LaTeX
- 2005: 特定領域の申請書を書くために
- 2006秋: 全種目公開

# Scientific Program

- Fri, Sat.
  - Various topics by mostly young people
- Sat., Sun
  - Summary of each project
  - + Higgs talk



# 日曜日の昼食

- 吉野駅付近に食べる所はほとんどない
- この旅館で昼食(800円)を食べたい人は、  
昼食券を茶田さんから買ってください
- 期間限定販売
  - 今と明日朝のコーヒーブレーク
  - 明日の昼休み後半



# 夜の部

- 今～部屋に移動、休憩
  - 風呂は1階、～23時、6時～8時半
- 貴重品はフロントに！
- 19:30～この部屋で夕食
- 21:30～玄関奥の囲炉裏の間で懇親会

# 朝

- 8:00~9:00 4階で朝食
- 9:00~ 研究会

# 部屋割り、鍵

- 部屋割り
  - 案内の最後にリスト
  - 名札に
- 鍵：リストの★印の人は前に



# 金峯山寺・蛙飛び行事（奈良県吉野町）



毎年7月7日に金峯山寺で開かれる「蓮華会」で行われる「蛙飛び行事」。着ぐるみのカエルが、読経の力で人間の姿へと戻る。（2009年7月7日、奈良県吉野町）

## 週刊まちぶら

### 関西ワイド

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている奈良県吉野町の金峯山寺に毎年7月7日、ピヨコピヨコと巨大な青いカエルが現れる。もちろん本物ではなく、寺の三大行事の一つ「蓮華会」の中の「蛙飛び行事」に登場する着ぐるみだ。ユーモラスな行事として人気があり、桜の季節が終わった後も、多くの観光客が新緑の吉野を訪れる。

蛙飛び行事の由来は、平安時代の延久年間（1069～73）までさかのぼる。

ある高慢な男が金峯山に来て、寺の本尊の藏王権現や仏法を馬鹿にしたところ、大驚にさらわれ、断崖絶壁の上に置

き去りにされる。悔い改め、震えあがっている男を修行中の僧が見つけ、カエルに変えて寺へと連れ帰る。男は僧たちの読経の力で、もとの人間の姿に戻ることが出来た。

行事はこの伝説にちなみ、太鼓台に乗せられたカエルが参道を練り歩いた後、午後3時ごろ、本堂の藏王堂前に到着。僧侶にざんげし、かぶり物を外して人間の姿へと戻される。

ところが、「今と違つて江戸時代は激しい行事だったといいます」と寺庶務部主任の山本雄貴さん（47）。当時は僧たちが夜に術をかけ合い、その優劣を競つていたといい、カエル役の僧は無意識で5、6尺（1・5～1・8㍍）も飛び上がりたり、油をなめたりし、本物のカエル

# 笑顔誘う大ガエル

## 記者ナビ

### 伝統支える努力

「蛙飛び行事」に注目が集まが、蓮華会自体は7日の午前10ごろ、寺から北西に約20㍍離れた大和高田市奥田の捨篠池で始まる。寺を開いた人物とされ、「日本紀」（8世紀末）などに登する修驗道の祖、役行者が産湯つかつたという池で、ここに咲いたハスの花108本を寺へとび、本尊などに供えることが運会には欠かせない。